

2024 年度田子のまち事業計画

昨年度は田子のまちが開所して 10 年目を迎えた記念すべき年となりました。新型コロナウイルス感染症が 5 類に分類され、感染対策の規制緩和も進んだことで、施設ご利用の皆さまの暮らしも豊かさを取り戻しつつあるように思います。また 2024 年度の介護保険制度改定に合わせ、BCP を作成し、研修や訓練を試行的に実施しました。経営の面では、とりわけ中長期計画に沿って必要利益を算出し、目標達成のため毎月意識統一ができたと思っています。また職場づくりについても 5 年後 10 年後の職場を想像し、職責者で進む方向を確認し合えたと感じています。

2024 年度は職場づくり醸成のためにも、チームワークについて注力し、スローガンとして「認め合える職場」を掲げ、職場全体でその風土を培っていきたいと思います。

法人介護事業の 4 つの重点課題「質の向上」「職員育成」「経営改善」「社会保障運動」や中長期計画のマイルストーンを設定し、確実に前進できるよう 1 ヶ月毎の達成具合を確認しながら、成果の積み上げと可視化を図り、職員全体で共有できる体制をもって、事業にあたりたいと思います。

2024 年度目標

- ① 施設理念を中心に施設ご利用の皆さまの生活を支えます
- ② 働きやすい職場づくりをします
- ③ 重大事故防止に取り組みます
- ④ 研修や民医連運動に参加し、自己研鑽に励みます
- ⑤ 法人の中長期計画に沿って、事業運営を進めます
- ⑥ 法令遵守します

2024 年度取り組み

- ① ご利用されている方々の要望に寄り添い、多職種で具現化を目指し CS (利用者満足度) 向上に努めます
- ② 「認め合える職場」をスローガンに、各職場の意識を統一し、ES (従業員満足度) 向上に努めます
- ③ ヒヤリハットをもとに、リスクマネジメントを強化します
- ④ 職員一人につき、1 つ以上の研修・民医連や地域活動に参加します
- ⑤ 稼働率特養 97%、ショート 95% (1 ユニット) を目指し、空床期間の短縮に努めます。ショート 10 床を再開します
- ⑥ 介護保険法や労働基準法等への理解を深めるとともに、就業規則等社会人のルールを守ります。

I 長期部門

【長期相談員】

2024 年度目標

- ① 年間 97%の稼働を達成します。常に稼働率を意識し、毎月振り返ります。
- ② 入居の相談には速やかに対応します。抱えている様々な問題に対応出来るよう、知識を増やします。

2024 年度取り組み

- ① 退居から入居までの期間を 3 週間以内に進めます。
- ② ユニットの状況を確認し、受け入れ態勢をユニット・ケアマネ・医務・栄養士と一緒に考えます。
- ③ 入居の相談や申し込みがあった場合は、なるべく細かく状況（本人の状態、ご家族の状況や思い・要望 等）を聞き取り、相談員同士で情報を共有します。
- ④ 判定順位の高い方の状況確認・実態調査を進め、次期入居を見据えて対応します。
- ⑤ 入居判定委員会を随時開催します。
- ⑥ 介護保険制度やその他の制度について、研修会への参加や自己研鑽に努めます。

【施設ケアマネジャー】

2024 年度目標

- ① その方の想いに寄り添ったケアプランを作り、多職種で共有しながら実現に向けてチームとして取り組みます。
- ② ご家族とこまめな情報共有を行い、安心して過ごしていただけるよう信頼関係を構築します。

2024 年度取り組み

- ① その方の「やりがい」「楽しみ」の記載はもちろん、ADL等の細かな情報を網羅できる 24 時間シートをユニット職員と協力しながら作成します。
- ② 記録の必要性や重要性についてユニット職員へ伝達し、その方の生活が見える記録を一緒に残していきます。
- ③ 必要な場面で必要な職種がご家族とやり取りできるように調整します。特にユニット職員とご家族が信頼関係を築けるようサポートします。
- ④ 相談員との連携を図ります。定期的に情報共有の場を作り、スムーズなご家族・病院等のやりとりが行えるようにします。
- ⑤ 看取りの学習会を開催します。

- ⑥ 自己研鑽のため、各種研修会へ参加します。

【春風】

2024 年度目標

最後まで「あなたらしく」暮らせるユニットを目指します。

- ① 入居者様の想いに寄り添い、ご家族、職員がホッと出来る空間を提供します。
- ② 職員が気持ちに余裕を持って笑顔で働けるよう、助け合える関係を作ります。

2024 年度取り組み

- ① 入居者様一人ひとりの出来ること・やりたいことに目を向けます。入居者様のテンポに合わせて統一したケアを行います。
- ② 職員間の報告・連絡・相談を確実にいき、一人ひとりが責任感を持ってケアをします。また、他職種と情報を共有し、入居者様の心身の健康を守ります。
- ③ ケアの見直しとともにパット類等物品の見直しを行い、コストダウンに繋がります。
- ④ 一筆でも多く、署名活動に取り組みます。

【ふたば】

2024 年度目標

入居者様、ご家族様の思いを第一に考え、居心地の良い環境で生活が送れるように支援します。

2024 年度取り組み

- ① 入居者様それぞれの楽しみや、やりたいことをご家族様と一緒に普段の生活の中でお聞きしながら個別にケアを行います。
- ② ご家族様に生活の様子が伝わるように、メールや電話で報告し安心してもらえるよう信頼構築に努めます。
- ③ 職員間で‘ありがとう’の感謝の言葉をたくさん使い、互いを思いやれる気持ちで働きやすい環境を作ります。
- ④ 日々、ケアの見直しをしながらパットや必要物品、方法を都度考えコスト削減に努めます。
- ⑤ 社会保障制度の学習会を通し、ユニットで出来る署名や財政活動にユニット全体で取り組みます。

【夏月】

2024 年度目標

あなたの「声」と「笑顔」を大切にします。

2024 年度取り組み

- ① 個別ケアを行い想いに沿えるよう努めます。また体調を崩さないよう健康管理に努めます。体調不良時はその日のうちに連絡を行いご家族様との情報共有を行います。普段の様子は居室担当が中心となり手紙やメールなどを活用し、ご家族様との信頼関係を築き上げます。
- ② 職員の勤務が合わず、すれ違いなど起きるため、職員同士の“つぶやきノート”を作成し話しやすい環境づくりを行います。居室担当を中心とし他部署間と早めの報告・連絡・相談を行います。
- ③ コストを意識し節電に取り組みます。
- ④ 署名活動に積極的に取り組みます。

【すずか】

2024 年度目標

- ① 喜びや生きがいを感じて、これまでの「暮らし」を継続できるように支援します。
- ② 職員が働きやすいと思える環境を作ります。

2024 年度取り組み

- ① 日々の中で入居者様のやりたいことを見つけ、24時間シートに反映させます。
- ② 入居者様の様子を細かく記録します。誰が読んでも分かりやすい記録にします。
- ③ ご家族に、面会時やメール、お手紙で、日頃の様子を伝えます。定期的に写真を送ります。
- ④ 看取り、拘縮の強い方のポジショニング、お薬について学習します。
- ⑤ 普段からの挨拶、「助けてください」「ありがとう」を言葉で伝えます。助け合える関係を築きます。
- ⑥ 電気、エアコンの適切な使用を心がけます。節電や節約に意識して取り組みます。
- ⑦ 職員一人ひとりが社会保障に興味を持ち署名活動に積極的に取り組みます。

【秋晴】

2024 年度目標 スローガン「認め合える職場」

入居者様・職員とも、みんなが安心して過ごせるユニットを作ります。

2024 年度取り組み

- ① ご家族とメールや電話、または面会時に様子を報告し、信頼構築に努めていきます。
- ② 相手の話をよく聞き、職員同士が話しやすい環境を作ります。
- ③ 原価意識を高め、オムツ・パットの見直しや電気代の削減に努めます。
- ④ 勉強会などを通して介護保険制度の理解を深めていきます。

【みのり】

2024 年度目標

入居者様の笑顔を引き出し、明るく、安心してその方らしく暮らせるよう支援します。
職員同士助け合い、支え合い、みんなが居心地の良い場所を作ります。

2024 年度取り組み

- ① 入居者様の「思い」を一番に、その方にあったケアを考え実行します。
- ② 職員同士（多職種）小さなことでも入居者様の変化など気づいたことを伝えあい、入居者様の「思い（希望）」はすぐ共有し、実行します。
- ③ 事故を未然に防げるよう、ヒヤリハットの段階で対策をしっかりと考え情報共有します。
- ④ 一人一人が思いやりを持って行動し、感謝の言葉を忘れない。
協力ユニットとコミュニケーションを積極的にとり協力体制を作ります。
他職種やご家族とも積極的にコミュニケーションを図ります。
ご家族とは面会時以外にもメールやお手紙で状態を報告します。
- ⑤ 職員同士声を掛け合い、だれもいない部屋は電気を消す・エアコンを調整します。
- ⑥ 一人ひとりコストダウンを意識します。
- ⑦ 福祉の環境がよくなるよう、積極的に署名活動に取り組みます。

【美冬】

2024 年度目標

入居者様の個性に合わせた生活が営めるように、日々のケアを検討・対応します。
入居者様に信頼していただける「感じの良い」職員を目指します。

2024 年度取り組み

- ① 入居者様に合わせた余暇時間の過ごし方を検討し、楽しみとなる時間を増やします。
- ② ユニット内だけでなく、他部署とも密に連絡をとり、入居所様の情報共有と迅速な対応に努めます。
- ③ 口頭だけでなく、申し送り表やボードを活用します。分かりやすい言葉で伝え、ユニッ

ト職員の情報相違が起きないように努めます。

- ④ お互いが話しかけやすい雰囲気作りが出来るよう、1日1度以上は職員同士で挨拶以外のコミュニケーションをとる時間を作ります。
- ⑤ 協力ユニットとも会議を行い、お互いのユニットの課題解決に協力します。
- ⑥ 月に1度以上はご家族に入居者様の状態を報告し、信頼関係構築に努めます。
- ⑦ 日用品を大切に扱い、コスト削減を意識します。
- ⑧ 署名活動に協力します。

【こうめ】

2024年度目標

- ① 入居者様やご家族の想いに寄り添い、ご希望を叶えます。
- ② 職員同士の「和」「輪」を大切にします。

2024年度取り組み

- ① 「個別ケア」の実践に向け、入居者様やご家族のご希望や願いを随時リストアップし、叶えます。
- ② ご家族との情報共有を強化するため、月に1回は面会やメール、手紙を通してご様子をお伝えします。
- ③ 月間目標を立て、毎月焦点を絞ってユニット内の環境づくりに取り組みます。
- ④ 他職種を含め、職員同士を思いやり日々「ありがとう」と感謝を伝えます。
- ⑤ 年2回(4月・10月)排泄用品の種類や使用方法の見直しをおこない、コストダウンに繋がります。
- ⑥ 夏期(7月～9月)、冬期(12月～2月)は節電月間とし、電気の使用削減方法を話し合い実践します。
- ⑦ カンパ飯の活動に、1人1回以上参加します。

II 短期部門

【短期相談員】

2024年度目標

- ① 年間稼働率95%の稼働を達成します。
- ② 職員一丸となり撫子の再開に取り組みます。

2024 年度取り組み

- ① 利用者、家族の想いに寄り添い信頼関係の構築に努めます。
- ② 職員の困っている(記録の仕方、ご家族への報告、緊急時対応)をユニット内で一緒に考え答えを出せるようにしていきます。
- ③ 医務と連携し、利用者の身体状況を全体で把握できるように医務・花梨会議を継続して行います。
- ④ 空床案内の方法を検討し、ケアマネがより見やすく、問い合わせしやすいようにしていきます。
- ⑤ 民医連活動を通して、今の福祉、医療の現状を把握できるように努めます。

【花梨】

2024 年度目標

利用者様の“できること”に視点をあて、状況に合わせたケアを提供します。

2024 年度取り組み

- ① 自宅での生活を基に利用者様の状態の把握をし、ユニット内で情報共有します。
- ② 多職種と協力し、利用者様が安心してご利用できる環境を作ります。
- ③ リポートして頂けるようなケアの提供に取り組む。
- ④ カンパや署名活動に積極的に参加します。

Ⅲ各部署

【医務】

2024 年度目標

- ① 入居者や家族の想いを理解し、その時の状況や状態に合わせた対応ができるように多職種で連携し取り組みます。
- ② 嘱託医や協力機関と連携し、必要な医療の提供が行える様にします。

2024 年度取り組み

- ① 医療的な側面から、やりたい事が実現できるように多職種と連携し検討します。
- ② 情報の伝達や共有がスムーズに行える様に、お互いに思いやりをもって行動します。
- ③ 状態の変化を早期に把握し、安定して生活が送れるように支援します。
- ④ 研修会への参加や自己研鑽に努めます。

【食養】

2024 年度目標

- ① 美味しく、楽しく、安全な食事を提供します。
- ② 入居者様おひとりおひとりに合った栄養管理をします。

2024 年度取り組み

- ① 食養会議内で、食品衛生・食中毒の学習会を行います。
- ② 多職種と連携し、入居者様の情報を共有します。
- ③ 食養会議の他にも、適宜話し合いや提案する場を作ります。
- ④ 無駄のない発注をします。
- ⑤ 署名活動に積極的に参加します。

【事務】

2024 年度目標

- ① 必要利益を念頭に置いた予算作成と予算管理を行います。
- ② 共済活動と社会保障運動を推進します。
- ③ 施設整備を計画的に進めます。

2024 年度取り組み

- ① 統一会計基準を活用し、経営分析を行います。
- ② 職員が経営にも関心を持ち、全職員での経営を目指すため経営状況報告書の書式と報告方法の見直しを図ります。
- ③ 労基法の学習や就業規則の理解を深め、職員の疑問や悩みに迅速に対応、解決できるよう努めます。
- ④ 民医連主催の社会保障運動・研修会へ積極的に参加し、職員や入居者様の暮らしが豊かになる情報を発信します。
- ⑤ 共済活動を活用し職員の福利厚生充実を目指します。
- ⑥ 設備購入・修繕の中長期計画書を作成します。
- ⑦ 入居者、ご家族、職員、来客すべてに対し常に明るく丁寧で親切な対応に努めます。

【研修】

2024 年度目標

- ① 内部研修の年間予定をたて、主催部署、委員会へ働きかけます。
- ② 楽しく学べるよう、開催方式や研修内容を工夫します。

2024 年度取り組み

- ① 年間予定を主催委員会や部署に直接伝えます。年度最初の委員会や会議で学習内容、講師の検討をします。計画通り開催できるようサポートし、確認を行います。

4月	看取りについて	10月	高齢者虐待②
5月	BCP①（コロナウイルス感染について 学習・シミュレーション） 服薬マニュアル自己チェック	11月	感染症予防と対策（インフルエンザ・ノロウイルス） 服薬マニュアル自己チェック
6月	高齢者虐待① 中毒について 学習・シミュレーション	12月	認知症の理解と対応
7月	リスクマネジメント（KYT）	1月	リスクマネジメント（誤薬・KYT）
8月	身体拘束廃止① BCP②（自然災害 学習・シミュレーション）	2月	リスクマネジメント（夜間搜索訓練） 身体拘束廃止②
9月	リスクマネジメント（夜間搜索訓練） 避難訓練（夜間想定）	3月	新人研修 避難訓練（日中想定）

- ② 入職時に、高齢者虐待、身体拘束、リスクマネジメント、感染症、ハラスメント・BCP についての研修を行います。
- ③ リーダー会議、委員会で開催し、その後ユニット会議でリーダーや委員が講師となって開催する方式を積極的に取り入れ、多くの職員が同じく学びます。
- ④ 主催委員会や担当を明確にし、学習内容資料をそれぞれ担当が作成します。土台を作り、必要な内容を職員全員が学べるようにします。

IV委員会

【安全衛生委員会】

2024 年度目標

- ① 働きやすい、働き続けたいと思える職場環境づくりを目指します。
- ② 安全衛生委員会の役割や活動について学びを深めます。

2024 年度取り組み

- ① ユニット内の環境（温湿度、明暗差、危険個所等）の把握し対応策を検討します。
- ② 腰痛予防のための福祉用具活用を励行します。
- ③ 就業前にストレッチ運動を励行します。

- ④ ストレスチェック受検率 100%を目指し促進活動を行います。
- ⑤ 労災ゼロ（腰痛、転倒、精神衛生等）の啓蒙活動を行います。
- ⑥ 委員会内でハラスメント防止の学習会を開催します。

【感染症対策委員会】

2024 年度目標 スローガン【認め合える職場】

感染源を「持ち込まない」「持ち出さない」「広げない」を周知徹底し、感染予防に努めます。

- ① 年 2 回の学習会を開催します。
- ② 年 2 回手洗いチェッカーを活用し感染予防に繋がります。

2024 年度取り組み

- ① 感染症発症時のマニュアルに関して定期的に確認をし、職員への周知を行います。ユニットでの疑問、課題や問題点をそのままにせず、その都度委員会内で検討します
- ② 6 月に食中毒・吐物処理、11 月にインフルエンザ・ノロウイルスの勉強会を開催し、委員が中心となって職員へ周知・共有します。
- ③ 手洗いチェッカーを用いて正しい手洗い方法を習得し、委員が中心となり年 2 回に確認を行います。

【褥瘡対策委員会】

2024 年度目標 スローガン「認め合える職場」

- ① 褥瘡の早期発見に努め、褥瘡予防に努めます。
- ② 褥瘡予防についての学習会を実施し、知識の向上に繋がります。

2024 年度取り組み

- ① 個々の身体面、栄養面、生活状況を把握し、褥瘡にならないよう日頃からユニット内でケアの見直し、統一を図っていきます。また、必要時他部署との情報共有を行っていきます。
- ② 毎月エアマット使用基準評価表を使用し、マットレスの適正について評価を行い、委員会内で報告、相談をしていきます。
- ③ 会議内で学習会を行い、ユニット内に伝達、情報やケアの統一を図っていきます。

【高齢者虐待防止委員会】

2024 年度目標

高齢者虐待のない施設を作ります。

2024 年度取り組み

- ① 高齢者虐待ゼロが共通認識となるよう、全職員を対象とした内部研修を年 2 回（6 月と 10 月）行います。
- ② 11 月セルフチェックを行い、職員自身のケアを振り返る機会を作ります。
- ③ チーム作りを強化します。
- ④ 認知症の学習を励行し、ケアの質を向上させます。
- ⑤ 毎月会議を行い、事故や苦情報告を検証します。
- ⑥ 委員は外部研修に参加し、職場内で伝達研修を行います。

【事故対策検討委員会】

2024 年度目標

- ① 重大事故、服薬事故、ヒヤリハットを分析し、事故対策の検討と実施、評価を行います。
- ② 各ユニットで対応に悩んでいる事例を話し合える環境を作り、対策案を提示します。
- ③ 誤薬撲滅委員会と連携し、服薬マニュアルのチェックを行います。
- ④ ショートステイ・当直も含めた搜索訓練を行い、行方不明事故が起こった時でも、慌てず対応します。
- ⑤ リスクマネジメント学習会を年に 2 回開催し、その内容を参加出来なかったユニットの職員にも伝達していきます。

2024 年度取り組み

- ① 服薬マニュアルを守って実施出来ているかどうか、実践チェックを行います。同じ服薬事故（ヒヤリハット）が起きないように、原因分析・対策検討・その後の評価を行います。
- ② 重大事故や各ユニットで対応に悩んでいる事例の検証をし、多角的視野から再発予防策を検討します。
- ③ ヒヤリハット集計を分析し、各ユニットで活かせるような対策の検討・実施、その後の評価を行い、事故を未然に防ぎます。
- ④ 新しい職員や新たに夜勤リーダーになる者を対象とした搜索訓練を定期的にも実施します。またショートステイの利用者を対象とした搜索訓練も実施します。その後搜索マニュアルの不備を検証し、マニュアルの見直しや点検を行います。
- ⑤ 個人情報シートを会議ごとに確認します。
- ⑥ 研修の年間予定を立て学習会を開催します。

リスクマネジメントの勉強会（7月・9月・1月）

夜間捜索訓練学習（9月）

- ⑦ 毎月第1金曜日 15：30 に会議を開催します。

【身体拘束廃止検討委員会】

2024 年度目標

- ① 人権擁護・高齢者虐待・身体拘束・不適切なケアへの理解を深め、ユニットの職員に対して自分の言葉で説明出来るようにします。
- ② 研修の年間予定を立て、年2回学習会を開催します。
- ③ 学習会や委員会で得た情報をユニットの職員と共有し、重大事故発生の防止に努めます。

2024 年度取り組み

- ① 委員会で「グレーゾーン」と言われるケアについて意見を交わし、日々のケアを振り返ります。各ユニットに持ち帰って情報を共有することで、ケアの質の向上に繋がっていきます。
- ② センサーマットの使用状況と取り組みを各ユニットより報告し、センサーマットを外す方法を検討します。
- ③ 8月と2月に身体拘束について学習会を行います。学習会を通し、ユニットの職員にも理解を深めてもらいます。ユニットの職員への学習会では委員が主体になり行います。
- ④ 身体拘束学習会の資料を作成します。ユニットでの事例を交えた内容で作成します。
- ⑤ 毎月第1金曜日 15：30 に委員会を開催します。

【社会保障委員会】

2024 年度目標

- ① 毎月委員会を開催します。
- ② 生活、暮らしの中で気になることを話し合い共有し情報を発信していきます。

2024 年度取り組み

- ① 全職員へ発信するためのより良い方法を検討していきます。
- ② 福祉ウェブへの参加を促します。
- ③ 財政活動へ全体で取り組んでいきます。
- ④ 介護署名ひとり10筆目標に取り組めます。
- ⑤ 職員にとって馴染みのある委員会にしていきます。

V年間計画

	年間行事	研修内容
4月	災害計画見直し（委員会）	看取りについて
5月		感染BCP（コロナウイルス感染について 学習・シミュレーション）
6月	みやぎ民医連総会	高齢者虐待①
		感染症学習（食中毒について 学習・シミュレーション）
7月	職員検診①	リスクマネジメント①
8月	原水禁世界大会	身体拘束廃止① 災害BCP（学習・シミュレーション）
9月	田子のまちミニ縁日 ストレスチェック	リスクマネジメント（夜間搜索訓練） 火災避難訓練（夜間想定）
10月		高齢者虐待②
11月	職員面談、セルフチェック 福祉ウェブ	感染症学習（インフルエンザとノロウイルスについて 学習・シミュレーション）
12月	入居者結核検診	認知症について
1月	入居者血液検査 職員検診②	リスクマネジメント②
2月		身体拘束廃止②
3月		火災避難訓練（日中想定） 新人研修
* 毎月1回定期開催：事故対策、身体拘束廃止検討、虐待防止、感染対策、褥瘡対策、安全衛生、社会保障、各部署会議		
* 3ヶ月1回定期開催：感染症蔓延防止		
* 年1回開催：災害対策		
* 随時開催：入居判定、誤薬撲滅		